

# 町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1  
電話：74-0212 FAX：74-0105  
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

## 学びの園で生涯学習スタート

### ▼おしどり学園開講式



▲相続と遺言の大切さを話す中村さん

演が行われました。

中村さんは、「相続によつて起こるトラブルを防ぐためには、遺言は元気なうちに書いておくべき」と強調。その理由として、「遺言がなければ、相続人が全員集まっても遺産分割協議をし、財産の分け方を決めなければなりません。仲が良かった家族でも対立することがあるのです」と話しました。

実際、遺産分割調停の総数は増加傾向にあるとのこと。中村さんは、相続紛争を回避することの重要性と、その方法について具体的な例を挙げながら説明していききました。

学園生は、中村さんの説明に熱心にメモを取りながら、知識を習得するだけでなく生かしていくことの大切さを学んでいました。講演後には、昼食を囲みながら親睦を深めた学園生。一年の好スタートを切ることをできました。

4月26日、おしどり学園の開講式を行いました。  
今年度は、56人の受講申込があり、開講式には35人が出席しました。  
はじめに、神庭賢一学園長が、「ここでの学びを通じて、さらに人生の深く強い根っこを張っていかれ、生きがいや達成感という幸福の花を咲かせてください」と学園生を激励しました。  
開講式終了後には、「今からできる相続対策」と題し、弁護士の中村栄治さんによる記念講

## 安全・安心は日ごろの心がけから

### ▼第1回おしどり学園



▲具体例をあげ説明する山本さん

者は、「安全確認は身体を左右に振る」「遠くでも横断歩道を横断する」「夜には明るい服装と反射材を着用する」。また、自動車を運転する際は、「速度は控えめに」「早めのライト点灯とハイビームの活用」「交差点では危険を意識すること」など、交通事故の加害者・被害者にならないために守るべきことをあげました。

5月17日、第1回おしどり学園を開きました。  
今年度最初となる一般教養講座では、「交通事故加害・被害防止と特殊詐欺防止について」と題し、黒坂警察署長の山本明義さんが講演を行いました。  
山本さんは、今春警察署長として就任したばかり。早速、交通事故防止のために、歩行

次に、県内でも多く発生しているオレオレ詐欺や架空請求詐欺、還付金詐欺など、巧みな手口でだます様子をDVDを使って紹介。特殊詐欺被害防止を呼びかけました。  
学園生にとって、自分の身にいつ降りかかるかもしれないと意識する良い機会に、そして黒坂警察署が身近に感じられた一日となりました。

### 第3回おしどり学園のご案内

日時 7月19日(金) 午前9時30分/場所 町公民館講堂  
内容 講演 「災害から身を守るパート2」  
講師 町危機管理監 天野 智さん

※講演はどなたでも参加できます。

問合せ 町公民館(電話74・0212)

# 今から始める！インターネット

## ▼パソコン・スマホ教室を開催



▲初めてスマホにふれる参加者▶インターネットの世界へようこそ。中海テレビのスタッフがやさしく指導

今や社会では当たり前となったインターネット。一例を挙げれば、JR根雨駅では平成29年12月末で切符の電話予約受付を終了し、インターネットを介した予約制に切り替わっています。

そして、日野町でも、平成29年度に光ファイバーを町内全域に整備し、今では高速インターネットネットワークサービスの利用ができるようになりました。

町公民館では、地域の皆さんにインターネットについて学び、楽しんでもらおうと、中海テレビ放送による初心者向け教室を企画。5月20日にパソコン教室を、22日にスマートフォン（スマホ）教室を開きました。パソコンやスマホの電源を入れるといった基本操作から活用術、インターネットの利用方法まで学びました。

パソコン教室では、マウスやキーボードの使い方や文字入力の方法、インターネット検索について学習。電話のかけ方やフリック入力でのメール送信、音声検索などを学んだスマホ教室では、写真・動画撮影をしたり、実際に地図アプリを使ってパリの地図を見たりしました。

参加者は、直接さわったり使ってみることで、「自分にもできる」と自信をつけた様子。インターネットという扉を開き、最初の一步からステップアップする良い機会になったようです。

## 町青少年育成会会長に神庭賢一さん



5月28日に、日野町青少年育成会総会を開き、神庭賢一さん（町公民館長）を会長に選出しました。  
任期は、令和3年3月31日までです。よろしくお願います。

## ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第71回

### 「算段」は計画的に。

「ほんにけえ、おまえの部屋はさんだがないなあ。」  
これ、筆者がよく言われる言葉なのですが、日野地域では、片付いていない・乱雑な・手の施しようがない状態のことを「さんだがない」といいます。  
地元民にはあまりにポピュラー過ぎて、その由来など気にもならないところでしょうが、おそらく「算段がない」が変化したものでしょう。  
「算段」には、計算する・手段を考える・準備するなど  
の意味があります。  
そういえば、何かの作業をする時、「道具うさんだんせえ（道具を準備しろ）」などと言いますね。それができていない状態が「さんだがない」ということなのでしょう。  
さてと、せめてお盆が来るまでにはさんだがない我が城を片付けようかと、毎年思っているのですが、世の中の「がんばりな（勤勉な・一生懸命な）『頑丈』が由来か」人たちが羨ましい今日この頃。

協力：日野町歴史民俗資料館友の会



日野町制60周年

輝け日野町  
羽ばたけ未来へ

「来て、見て、ふれて」  
みんな笑顔で生涯学習

第20回公民館まつり開催日決定！

12月6日（金）～8日（日）